



創立20周年前後の土橋中学校の歴史

校長 井之上 良一

土橋中学校の創立20周年の頃といえば、昭和42年前後であり、第一次ベビーブーム（昭和22年～24年）の少し後に生まれた世代が本校に在学していた頃にあたります。折しも、高度経済成長の只中であり、東京の上野駅が集団就職や帰省をする人でごった返していた時代でもあります。歌謡曲「あゝ上野駅」が発表・発売され、大ヒットしたのもこの頃です。また、学生運動の嵐が全国に吹き荒れ、今春放映された映画で再び脚光を浴びることになった、三島由紀夫氏と東大全学共闘会議（東京大学で組織された学生運動組織）の学生との伝説の討論会が行われたのもこの頃でした。

『学校要覧』（毎年作成）によると、当時（昭和42年）の土橋中学校は、各学年2学級ずつの6学級で205名の生徒が在籍していました。教職員は16人で、美術と音楽以外は教科専門の先生が在籍されていたようです。前々号で紹介した第4代竹下校長先生（昭和39年3月金峰町立阿多中学校へ御栄転）の後任は、岩下三次郎先生（昭和39年4月～昭和44年3月）、その後任は溝口敏先生（昭和44年4月～47年3月）と続いています。

進路状況に目を転じると、昭和39年度から昭和47年度間の進路状況は、年度によって数字に変動が見られますが、平均すると約7割が進学を、約3割が就職を選択していた時代でした。西鹿児島駅から東京や大阪方面に向かって集団就職をされた卒業生の方も少なくなかったのではないかと想像されます。

さて、県大会で優勝を飾るなど大きな躍進を遂げた剣道部は、その後、どのような活躍を見せたのでしょうか。

『学校要覧』及び『土橋中創立50周年記念誌』（平成11年発行）によると、英語科の教師であった富山松孝先生が竹下校長在任中の昭和37年4月に本校に赴任されました。

先生は、赴任当時37歳。中学校2校の勤務を経験し、教師として一番脂がのりきった時期に本校に赴任されたのではないかと思います。大学卒業後、すぐに教職に就かず、一時期一般企業に就職し、その間、従軍の有無は不明ですが、1年近くにわたる軍隊生活も経験しておられます。

着任の日、富山先生は、校長室で竹下先生の話に魅了され、その3日後には稽古着を着けて剣道場に向かわれたといえます。以後、時間の許す限り生徒と共に練習に汗を流されました。日々の精進がいかに深いものであったのかは、昭和42年に「剣道4段」を取得されているという事実から容易に推し量ることができます。竹下先生の転任後は、剣道部の指導を託されることになりました。富山先生といえども、名門土橋中学校の剣道部の指導者を継承することはかなりのプレッシャーであり、2、3日は眠れぬ夜を過ごされたとのことでした。

竹下先生の確固たる後継者の登場に加えて、心身ともに立派な生徒たちが集い、そして猛練習の甲斐あって、昭和40年2月の県下中学校新人剣道大会の優勝を手始めとして、

7月の県大会、8月の南九州大会でも優勝。土橋中学校剣道部の快進撃は新しいステージへと向かっていくことになります。

富山先生は、12年もの長きにわたって本校に在職（昭和37年4月～49年3月）されています。これは異例のことであり、卓抜した指導力と情熱を有しておられたことから、土橋中学校での継続した指導を望む保護者や地域の声が多かったためだと考えられます。

在任中の剣道部の活躍については、右に示したとおりですが、中でも昭和41年3月の第7回全国少年剣道錬成大会での優勝は、全国の強豪163チームが参加する中で勝ち取った栄冠であり、剣道部の歴史中、最も特筆すべきことです。

『創立50周年記念誌』に寄せられた富山先生の「忘れられない土橋中時代の思い出」と題する文章から引用すると、その時の様子は次のように記されています。

- 昭和40年2月7日
第8回県下中学校新人剣道大会優勝
 - 昭和40年7月27日
県下中学校剣道大会優勝
 - 昭和40年8月28日
第1回南九州中学校剣道大会優勝
 - 昭和41年3月27日
第7回全国少年剣道錬成大会中学生の部優勝
 - 昭和42年3月26日
第8回全国少年剣道錬成大会中学生の部努力賞
 - 昭和42年5月28日
第10回県下中学校剣道大会優勝
 - 昭和44年3月30日
第10回全国少年剣道錬成大会中学生の部努力賞
 - 昭和46年8月30日
第14回県下中学校剣道大会優勝
- 【註】『学校沿革史』から関係事項を抜粋



『コグンフントウ ツイニユウショウシタ ニホンイチニナル カンムリョウ セイト フケイニヨロシク』（学校あての電報）と打電 これに対し『ナミダ ナミダ ユウコト ナシ ガイセンヲマツ』と岩下三次郎校長よりの返電でした。西鹿児島駅に下車すると鹿商工高プラスバンドの祝演奏、中学校では校区を挙げての祝勝会、伊集院町主催の町内パレードと祝勝会と嬉しいことの連続でした。」

まさしく土橋校区全体が、そして伊集院町全体が歓喜に沸き立った瞬間でした。この後、寄稿文の中では、保護者や地域の方々、同僚の先生方に対する心からの感謝の言葉が綴られています。竹下先生をはじめ、当時の先生方との出会い、生徒や保護者、地域の方々との有り難い出会い。そして、学び合いと磨き合い。「天の時、地の利、人の和」が満ち、当時の土橋中学校には、現在の校訓である「同学・共働・琢磨」の精神の一端が現出していたのではないかと想像することです。

人は、たとえ幸運な「出会い」を得たとしても、内面に敬意や学び、向上しようとする意思を持っていなければ、それを真に求めていた「出逢い」へと高めることができないのではないのでしょうか。

独自の哲学論と教育論を提唱し、後生の教育者に多大な影響を与えた森信三先生の次の言葉は、そのことを言い得ていて誠に妙です。

「人間は一生のうち逢うべき人には必ず逢える。しかも一瞬早過ぎず、一瞬遅過ぎない時に。縁は求めざるには生ぜず。内に求める心なくんば、たとえその人の面前にありとも、ついに縁は生ずるに到らずと知るべし。」

（土橋中学校の歴史の続きは、「11月号」に掲載する予定です。）

第71回土橋幼小中校区合同運動会に向けて



熱中症予防対策(9月15日)



熱中症予防対策の1つとして、子どもたちに熱中症の正しい理解と対策を学習させる機会をつくりました。

全校朝会で、日本スポーツ振興センター制作の映像を生徒全員で見て学習し、資料を確認しました。

特に、熱中症予防の5つの原則である「①環境条件の把握とそれに応じた運動、水分補給」「②暑さに身体を徐々に慣らすこと」「③個人の条件考慮」「④服装」「⑤体調が悪くなったら運動を中止すること(引く勇気)」を子どもたちにしっかりと意識させ、運動会練習等に取り組んでいきたいと思ひます。

新型コロナウイルス感染症対策の中で、例年とは違う形で開催される運動会。「燃やせ青春 ここで開催 私たちのオリンピック～Over the top～」というスローガンを掲げ12人の生徒が、運動会に向けて一生懸命練習に取り組んでいます。

夏季休業中より鍛えた心身はとてまたくましく、小学生や幼稚園生には頼れる存在として映っていることでしょう。

当日の勇姿を是非見に来ていただきたいと思ひます。

日	曜	10月の主な行事予定
1	木	おひさまあいさつの日 第2回英語検定
2	金	ひおき学フィールドワーク(「弁当の日」)
8	木	生徒会立会演説会・選挙
12	土	土曜授業(避難訓練)
14	水	地区新人総体(15日予備日)
16	金	巡回図書 学級専門部会、学校専門部会
17	土	妙円寺詣り大行進
19	月	中間テスト(～20日)
25	日	妙円寺詣り遠行(PTA主催)
27	火	生徒総会
28	水	第2回70周年記念事業実行委員会
30	金	巡回図書 文化祭予行

※ 25日の「妙円寺詣り遠行」の案内は、小学校の方針が決定し次第、差し上げます。

おめでとうございます

第1回実用英語技能検定

3級合格
4級合格



さん
さん
さん
さん



第29回妙円寺詣りの歌暗唱大会

団体の部努力賞



さん
さん
さん
さん
さん
さん

第62回鹿児島県児童生徒作文コンクール

日置市審査会

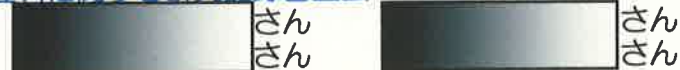
特選
入選



さん
さん
さん

日置市理科に関する研究記録審査会

入選



さん
さん
さん

PTA保健生活部より

9月26日(土)14:00から運動会の緑門づくりを中学校(裏門)にて行います。地域の方々も手伝ってくださいますが、都合のつかれる保護者の方は剪定ばさみを持参のうえ御参加いただければ幸いです。



お知らせとお願い

8月30日(日)に愛校作業を実施した際の忘れ物(シャベルと草取り用のフォーク)を学校で預かっています。お心当たりのある方は、学校(273-9230)へ御連絡ください。

